

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	独立行政法人理化学研究所施設整備に必要な経費		担当部局庁	研究振興局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成15年度・なし		担当課室	基礎研究振興課	基礎研究振興課長 安藤 慶明			
会計区分	一般会計		政策・施策名	科学技術・学術政策の総合的な推進 VII-2 イノベーション創出に向けた産業連携の推進及び地域科学技術の振興 基礎研究の充実及び研究の推進のための環境整備 IX-2 科学技術振興のための基盤の強化 科学技術の戦略的重点化 X-1 ライフサイエンス分野の研究開発の重点的推進及び倫理的課題等への取組 X-3 環境分野の研究開発の重点的推進 X-8 新興・融合領域の研究開発の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人理化学研究所法第16条		関係する計画、通知等	第4期科学技術基本計画(平成23年8月19日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	理化学研究所の設置する研究所施設の整備充実を図るため、研究所が行う研究所施設の整備に要する経費に対し補助を実施し、もって科学技術に関する試験及び研究等の業務を総合的に行うことにより、科学技術の水準の向上を図ることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	我が国唯一の科学技術全般を総合的に行う研究機関として、物理学、化学、生物学、医科学等の幅広い研究分野を対象に、世界最先端の研究活動に必要である先端的な分野融合研究、社会ニーズ等を踏まえた政策課題対応型研究及び最先端研究を支える研究基盤の構築・共用・高度化を総合的・戦略的に実施する理化学研究所に対し、必要な研究所施設の整備に要する経費の補助を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	当初予算	2,037	956	90	370	4,866		
	補正予算	-	復興関係に計上	9,273	-			
	繰越し等	7,741	413	△8,849	9,273			
	計	9,778	1,370	514	9,643	4,866		
	執行額	9,778	1,368	422				
執行率(%)	100.0%	99.9%	82.1%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (24年度)	
	【施設の整備】 (独)理化学研究所の事業を実施するうえで必要な施設を整備する		成果実績	世界最先端の研究活動を実施するうえで必要となる施設を整備。平成24年度においては、動物施設空調熱源等を整備。				
	達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	施設整備の整備件数		活動実績 (当初見込み)	件	5	3 (3)	1 (1)	- (-)
			算出根拠	※(独)理化学研究所の事業を実施するうえで必要な施設整備費補助金のため、単位当たりコストの算出は困難				
単位当たりコスト	-		(円/)					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	独立行政法人理化学研究所施設整備費補助金	370百万円	4,866百万円	水質汚濁防止法改正対応等のための増				
				新しい日本のための優先課題推進枠:4,866百万円				
	計	370百万円	4,866百万円					

事業所管部局による点検																		
	項目		評価	評価に関する説明														
必要投入の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	当事業は、科学技術基本計画にも必要性が明記されているなど、政策の優先度が極めて高く、国民生活の発展のために必要な事業である。イノベーションの苗床となる多様な基礎研究を行うといった事業目的を達成するためには、国から一定の財政支援を受けた独立行政法人が研究施設の整備費用の補助を行う必要がある。														
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○															
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○															
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先の選定に際しては、随意契約見直し計画等に基づき可能な限り一般競争入札を行う取組を進めるなど、競争性の確保に向けた取組を進めている。事業の実施にあたっては、真に必要なものに限って支出しており、受益者との負担関係は妥当である。また、公認会計士など外部有識者による検討委員会を設置して総合的な評価を行うなど、競争性を確保するための取組と共に、支出の合理性、必要性についての見直しを図っている。														
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○															
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-															
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○															
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○															
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-																
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	事業実施にあたっては、所内規程にもとづき契約の競争性を高めるなどの取組を行っており、コスト削減に努めている。また、それぞれ既存の研究基盤の利用を促進する施設整備等を実施しており、その手段、成果目標、活動実績は適切であり、十分な活用が予定されている。														
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○															
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○															
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業番号</th> <th>類似事業名</th> <th>所管府省・部局名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>			事業番号	類似事業名	所管府省・部局名									
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名															
点検結果	委託業務及び調達における経費削減、透明性の向上を図る等の取組は、「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」(平成22年12月7日閣議決定)においても指摘があるとおり、第2期中期目標期間を通じ実施してきたところであるが、第3期中期目標期間においてもこれらの取組を継続することにより、経費の節減に努める必要がある。																	
外部有識者の所見																		
外部有識者による点検対象外																		
行政事業レビュー推進チームの所見																		
事業内容の改善	<p>1. 事業評価の観点:この事業は、物理学、化学、生物学、医科学等の幅広い分野を対象に、世界最先端の研究活動に必要な先端的な分野融合研究、社会ニーズ等を踏まえた政策課題対応型研究及び最先端研究を支える研究基盤の構築・共用・高度化を総合的・戦略的に実施する理化学研究所の施設・設備の整備に必要な施設整備費補助金を支出するものであり、長期継続事業、契約・執行手続き、独立行政法人等の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:この事業は、平成15年以降長期に継続している事業であり、中期目標・中期計画に掲げられた計画に従って必要な施設整備を計画的に実施しているものであり、整備規模の適正化やコスト削減に注意しつつ、効果的・効率的な整備の実施に努めることとし、現在の事業内容を引き続き維持すべきである。しかしながら、契約に当たっては1者応札となっている案件が見受けられることから、競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。</p>																	
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況																		
執行等改善	各種閣議決定等に基づき、随意契約見直し計画に基づく競争性のある契約への移行や契約監視委員会による契約の見直し、入札要件の見直し等による一者応札・応募の状況の改善に向けた取組を着実に推進しているが、引き続き政府方針に基づき、競争性、公平性、透明性を確保するための取組を確実に実施する。																	
備考																		
<p>【行政事業レビュー】</p> <p>・契約に係る透明性・適正性の検証(独立行政法人理化学研究所(SPring-8の運営業務))(結果)事業の効率化、成果公開優先利用枠の拡大を含めた自己収入増、外部有識者も交えた外部委託等の運営体制のあり方を検討 ※施設整備費補助金のうち、放射光研究施設整備費が関連</p>																		
関連する過去のレビューシートの事業番号																		
	平成22年	0334	平成23年	0267	平成24年	0282												

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

シート①

文部科学省
422 百万円

〔独立行政法人理化学研究所に対し、研究施設の整備に必要な金額を補助〕

【補助】

【A】

(独)理化学研究所
422百万円

【B】
研究事業
84百万円

科学技術に関する試験及び研究等の事業

【C】
バイオリソース関連事業
338百万円

バイオリソース及びその特性情報の収集・検査・保存、並びに維持・保存及び利用のために必要な技術開発事業

シート②

【一般競争】

【B-1】
・エネルギー棟 排熱投入型吸収冷温水機設置工事
・高砂熱科学株式会社
・68百万円

神戸研究所 エネルギー棟における排熱投入型吸収冷温水器の設置工事

【一般競争】

【B-2】
・エネルギー棟1階 熱源機械室自動制御設備追加工事
・有限会社 上吉川工業
・13百万円

神戸研究所 エネルギー棟1階熱源機械室他に、自動制御設備の追加設置工事

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

シート②

文部科学省
422百万円

〔独立行政法人理化学研究所に対し、研究施設の整備に必要な金額を補助〕

〔補助〕

〔A〕
(独)理化学研究所
422百万円

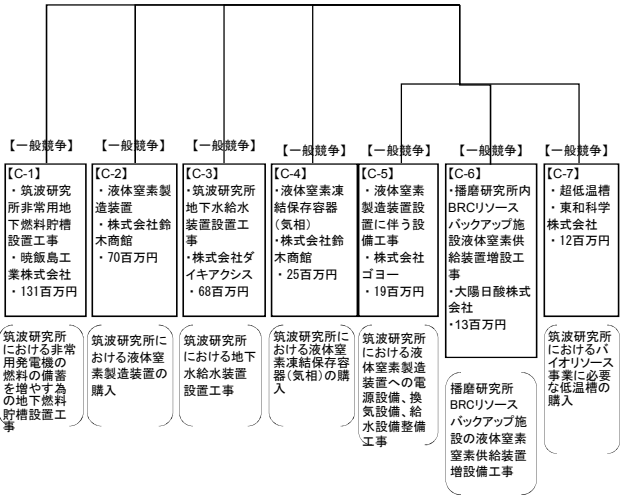
〔B〕
研究事業
84百万円

〔C〕
バイオリソース
関連事業
338百万円

科学技術に関する試験及び研究等の事業

バイオリソース及びその特性情報の収集・検査・保存、並びに維持・保存及び利用のために必須な技術開発事業

シート
①



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と用途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(独)理化学研究所			B-2. 有限会社上吉川工業		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
施設整備費補助金	制作費、工事費等	422	工事	エネルギー棟1階熱源機械室 自動制御設備追加工事	13
計		422	計		13
B.研究事業			C-1. 咲飯島工業株式会社		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
施設整備費補助金	製作費、工事費等	84	工事	筑波研究所非常用地下燃料貯槽設置工事	131
計		84	計		131
C.バイオリソース関連事業			C-2. 株式会社鈴木商館		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
施設整備費補助金	製作費、工事費等	338	購入	液体窒素製造装置	70
計		338	計		70
B-1. 高砂熱科学株式会社			C-3. 株式会社ダイキアキス		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
工事	エネルギー棟排熱投入型吸収冷温水機設置工事	68	工事	筑波研究所地下水給水装置設置工事	68
計		68	計		68

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

C-4. 株式会社鈴木商館					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
購入	液体窒素保存容器(気相)	25			
計		25	計		0
C-5.株式会社ゴヨー					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事	液体窒素製造装置設置に伴う設備工事	19			
計		19	計		0
C-6.太陽日酸株式会社					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事	播磨研究所内BRCリソースバックアップ施設 液体窒素供給装置増設工事	13			
計		13	計		0
C-東和科学株式会社					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
購入	超低温槽	12			
計		12	計		0

支出先上位10者リスト

B.研究事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	高砂熱科学株式会社	神戸研究所エネルギー棟における排熱投入型吸収冷水機の設置工事	68	9	76.2
2	有限会社上吉川工業	神戸研究所エネルギー棟1階熱源機械室他に、自動制御設備の追加設置工事	13	2	※

C.バイオリソース事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	嵯飯島工業株式会社	筑波研究所における非常用発電機の燃料の備蓄を増やす為の地下燃料貯槽設置	131	1	97.6
2	株式会社鈴木商館	筑波研究所における液体窒素製造装置の購入	70	3	※
3	株式会社ダイキアクシス	筑波研究所における地下水給水装置設置工事	68	4	89.3
4	株式会社鈴木商館	筑波研究所における液体窒素凍結保存容器(気相)の購入	25	2	※
5	株式会社ゴヨー	筑波研究所における液体窒素製造装置への電源設備、換気設備、給水設備整備工	19	1	※
6	大陽日酸株式会社	播磨研究所BRCリソースバックアップ施設の液体窒素窒素供給装置増設設備工事	13	1	※
7	東和科学株式会社	筑波研究所におけるバイオリソース事業に必要な低温槽の購入	12	1	※

※同種の他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため、又は研究所の事務若しくは事業に支障を生じるおそれがあるため非公表。